

発火する恐れのあるごみに注意してください！

不燃ごみの中に、発火性のあるスプレー缶やリチウムイオン電池などが入っていると、収集車内で爆発し火災事故が発生します。

ひとたび火災事故が発生しますと、収集車両やごみ処理施設に被害も出るだけでなく、作業員の生命に関わったり、周囲を巻き込む大規模な火災にも繋がります。このような事故を未然に防ぐため、以下のことを必ず守ってください。



▲近年発生した火災事故の様子。収集車から全てのごみを排出し、消火しました。

特にご注意いただきたい分別

①スプレー缶 カセットボンベ、ヘアースプレー、スプレー缶、塗料スプレー缶など

キャップを取って、穴をあけ、**資源ごみ**の収集日にスプレー缶類と書かれた収集容器に入れて出してください。
錆びていたり、汚れていても**不燃ごみ**には出さないでください。



②使用済み乾電池類 電池、ボタン電池、小型充電式電池、リチウムイオン電池など

資源ごみの収集日に専用の容器に入れて出してください。錆びていても**不燃ごみ**には出さないでください。
小型家電製品に内蔵されている電池も取り外して**資源ごみ**に出してください。
※取り除くことが難しい場合は無理に分解せず、**不燃ごみ**に出してください。



③石油ストーブ、ポリタンク

中に燃料が残ったまま出されるケースが頻発しています！

石油ストーブは燃料を取り除いた後、**粗大ごみ**に出してください。**石油ストーブは不燃ごみに出すことはできません。**

ポリタンク・プラスチックタンクは燃料を取り除き、蓋をあけて乾燥させてから**粗大ごみ**または**不燃ごみ**に出してください。

